

メガバンクグループの格付見直し結果

JCRは、国内メガバンクグループ（三菱UFJフィナンシャル・グループ、みずほフィナンシャルグループ、SMBCグループ）の銀行持株会社と中核会社の格付を見直しました。今回の見直しにおける格付の視点は以下の通りです。個社の格付事由については、本日付のニュースリリース（24-D-1027、24-D-1028、24-D-1029）を参照ください。

■格付の視点

- (1) JCRは、メガバンクグループの銀行持株会社および中核会社の発行体格付をいずれも据え置き、格付の見直しを「安定的」とした。グループの総合力や健全な資産内容を背景に一定の最終利益が安定的に確保されるとみられること、規律ある資本政策の下で高い資本水準が維持される見通しであることなどがグループ信用力を支えている。
- (2) メガバンクグループの事業基盤は非常に堅固である。銀行、信託、証券といった各分野でプレゼンスの高いエンティティを擁し、企業・個人の多様なニーズを多面的に捕捉している。国内における顧客基盤の厚みは突出しており、近時の金利環境の変化に伴い、巨大な顧客基盤を有する強みが収益面に一層反映される方向にあるとJCRは考えている。海外においても、銀行、証券などの連携によって大企業向けに包括的な金融ソリューションを提供するグローバル CIB 事業や、成長余地の大きいアジアビジネスの強化などに取り組んでおり、事業基盤は一段と拡充される方向にある。
- (3) 収益は堅調に推移している。24/3 期の実質業務純益は各グループとも過去最高益を更新した。円安や海外金利の上昇が追い風となった面があるものの、国内の超低金利環境が長期化する下で取り組んできた非金利ビジネスや海外事業の強化、経営効率化などの成果が表れていると言えよう。資本効率の向上を重視する下で投融資の採算への意識を強めており、リスクアセット対比でみた収益性にも改善がみられる。国内の金利上昇については、メガバンクグループの収益にプラスの効果をもたらすと JCR は考えているが、その程度は今後の金利動向や各グループのバランスシート運営などに左右される。また、メガバンクグループの収益は為替や海外金利の影響も受ける。外部環境の変化とこれによる収益への影響は実績を踏まえつつ評価に反映していく。
- (4) 資産の質は健全な状態が維持されている。グループ連結の金融再生法開示債権比率は1%内外と低位にある。メガバンクの主要顧客である国内の大・中堅企業では長期にわたり財務の改善が進み、海外向け貸出についても高格付先が大宗を占める。各グループとも一定の大口与信リスクを抱えていることや、海外の景気変動の影響を受けるリスクにはある程度の注意が必要だが、今のところ多額の費用が発生する兆候はみられない。市場リスクについても経営体力に見合ったレベルで管理されている。市場環境に応じた機動的な運用が行われているほか、政策保有株式を中心とする厚い評価益がリスクバッファーとなっている。
- (5) 自己資本はリスクに対するバッファーとして十分な厚みを有している。JCRが重視している調整後 Tier1 比率について、各グループとも AA レンジ相応の水準を確保している。リスク・リターン・資本のバランスを重視するリスクアペタイト・フレームワーク（RAF）の下、健全性を重視しつつ株主還元や成長投資などの資本活用を進めている。資金流動性についても特に問題はない。外貨流動性の管理はメガバンクグループに共通する課題ではあるが、長期運用のファンディングを短期の市場調達に依存するような不安定な調達構造にはなっていない。

(担当) 宮尾 知浩・古賀 一平

【参考】

発行体：株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ

長期発行体格付：AA 見通し：安定的

発行体：株式会社三菱 UFJ 銀行

長期発行体格付：AA 見通し：安定的

発行体：三菱 UFJ 信託銀行株式会社

長期発行体格付：AA 見通し：安定的

発行体：株式会社みずほフィナンシャルグループ

長期発行体格付：AA 見通し：安定的

発行体：株式会社みずほ銀行

長期発行体格付：AA 見通し：安定的

発行体：みずほ信託銀行株式会社

長期発行体格付：AA 見通し：安定的

発行体：株式会社三井住友フィナンシャルグループ

長期発行体格付：AA 見通し：安定的

発行体：株式会社三井住友銀行

長期発行体格付：AA 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等することは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会が定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル